

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)日本電産株式会社生産技術研究所一期新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v1.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.5	
Q1 室内環境					0.40		-	3.4	
1 音環境				3.0	0.15		-	3.0	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1		開口部遮音性能		3.0	0.60		-		
2		界壁遮音性能		3.0	0.40		-		
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-		
4		界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-		
1.3 吸音				3.0	0.20		-		
2 温熱環境				3.0	0.35		-	3.0	
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		
1		室温		3.0	0.38		-		
2		外皮性能		3.0	0.25		-		
3		ゾーン別制御性		3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
3 光・視環境				3.8	0.25		-	3.8	
3.1 昼光利用				3.0	0.30		-		
1		昼光率		3.0	0.60		-		
2		方位別開口			-		-		
3		昼光利用設備		3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				4.0	0.30		-		
1		昼光制御		4.0	1.00		-		
3.3 照度				3.0	0.15		-		
3.4 照明制御		熱感センサー及びG回路設置		5.0	0.25		-		
4 空気環境				4.1	0.25		-	4.1	
4.1 発生源対策				5.0	0.50		-		
1		化学汚染物質		5.0	1.00		-		
4.2 換気				3.3	0.30		-		
1		換気量		3.0	0.33		-		
2		自然換気性能		3.0	0.33		-		
3		取り入れ外気への配慮		4.0	0.33		-		
4.3 運用管理				3.0	0.20		-		
1		CO ₂ の監視		3.0	0.50		-		
2		喫煙の制御		3.0	0.50		-		
Q2 快適性					0.30		-	3.8	
1 機能性				3.6	0.40		-	3.6	
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40		-		
1		広さ・収納性		4.0	0.33		-		
2		高度情報通信設備対応		5.0	0.33		-		
3		バリアフリー計画		3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				3.3	0.30		-		
1		広さ感・景観		4.0	0.33		-		
2		リフレッシュスペース		3.0	0.33		-		
3		内装計画		3.0	0.33		-		
1.3 維持管理				3.5	0.30		-		
1		維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-		
2		維持管理用機能の確保		4.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.6	0.30		-	3.6	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50		-		
1		耐震性(建物のこわれにくさ)		4.0	0.80		-		
2		免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-		
1		躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-		
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-		
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-		
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-		
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
6		主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				4.2	0.20		-		
1		空調・換気設備		5.0	0.20		-		
2		給排水・衛生設備		4.0	0.20		-		
3		電気設備		5.0	0.20		-		
4		機械・配管支持方法		3.0	0.20		-		
5		通信・情報設備		4.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			4.3	0.30		-	4.3
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	
	1 階高のゆとり	階高4.5m以上	5.0	0.60		-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.1	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり		事務室3,500N/m ²	4.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			4.0	0.40		-	
	1 空調配管の更新性	天井スペースの確保	4.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性	PSスペースの確保	4.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性	EPSスペースの確保	5.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性	主要設備機器の更新に対応するルートを確保	5.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			=	0.30		-	3.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		研究施設が連ち並ぶ地域にあり、街並景観に配慮する計画を行った。	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30		-	4.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	バルコニー、中間領域の設置。防犯の視認性確保。研究員のプラン作成参加	4.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	条例基準を超過する緑地を確保	4.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.3
LR1 自然エネルギー			=	0.40		-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱材あり	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用		屋根面からの自然採光の取り入れ	4.0	0.10		-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.78	3.2	0.50		-	3.2
4 効率的運用			3.5	0.20		-	3.5
	集合住宅以外の評価		3.5	1.00		-	
	4.1 モニタリング	設備機器の運転状況をモニタリング	4.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価			-		-	
	4.1 モニタリング			-		-	
	4.2 運用管理体制			-		-	
LR2 資源(マテリアル)			=	0.30		-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
	1.1 節水	節水型便器を採用	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60		-	3.1
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	内装天井材:岩綿吸音板 エコマーク取得品	3.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	解体時に躯体と仕上材が容易に分割できる材料を選定	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.20		-	3.8
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	接着剤、ビニールクロス、シーリング材、塗床材等	5.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.3	0.70		-	
	1 消火剤	不活性ガス消火剤を使用	4.0	0.33		-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33		-	
	3 冷媒		3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境			=	0.30		-	3.0
1 地球温暖化への配慮		一般建物同等	3.6	0.33		-	3.6
2 地域環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制	駐車・駐輪台数を十分に確保。荷捌スペースの確保。来客用駐車場確保	4.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	ゴミ置場の設置及び分別排出。	4.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33		-	2.4
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音		3.0	0.33		-	
	2 振動		3.0	0.33		-	
	3 悪臭		3.0	0.33		-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		1.6	0.40		-	
	1 風害の抑制		1.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制			-		-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	